

第2回例会報告

9月18日の講演 “カンパンの始祖・大野耐一氏の思想と現実” 経営・教育コンサルタント 横瀬 儀氏

これまでの例会セミナーは技術系主体の内容によって占められているが、我々技術士は経営的・営業的センスをもつ必要から、トヨタ自工で事務系の道を歩まれた横瀬先生のカンパンの始祖の話はソフトで非常に参考になった。

トヨタ入社後18年にして生産管理部長となり、ここで直接カンバンに係わった。日本坂トンネル事故でトヨタの生産ラインがストップしたなどショッキングなエピソードや、部品を運搬するトラックの積載率向上努力など、陰日向のエピソードに始まり、必要な時に必要なだけ生産するジャストインタイム、ちんちん電車スタイルの紐を引張って異常通報させるラインが、当時の西欧経営者を驚かせたこと。パレットの中身がシンプルに5またはその倍数(手足の指の数)に決めてあること。スポーツ選手の背骨のような地についた弾力性のある生産システム。など数々が紹介された。世界的な優れた生産システムを構築した大野耐一氏は今は故人になられたが、そのカリスマな、独創性と抜群の行動力と、芸術家のようなセンシティブな面と僧侶のような論理を展開され凡人の理解し難いことが多かった。

歳月は流れ、進歩の今は当時よりもずっと柔軟で効率の高いカンバン方式が運転されているとのことである。

平成6年度第5回役員会報告H6.9.4 (日)

1. 地方公共団体と技術士との交流セミナー
メインテーマ; 21世紀の愛知の技術振興について
開催日時; 平成7年2月15日(水) 13:30~
愛知県商工部、県工業工業技術センター、市工業研究所、名古屋市都市センターなどへ参加交渉中。
2. 技術士と技術士会はどうあるべきか
近畿に(株)技術士(仮名)がある。参考にしては。技術士であるが故に、企業内の処遇が左右される。
NGAで会員技術士のデータベースを募集し活用する。
専門分野が一緒になっている世界は我々だけ、一緒になって解決できれば素晴らしい力が出せる。討議継続。

平成6年度第6回役員会報告H6.9.18 (日)

1. 地方公共団体と技術士との交流セミナー
開催日時; 平成7年2月15日(水) 13:30~
開催場所; KKR三の丸会館に決定。
2. 例会の案内方法と参加状況について
会報の例会案内が見にくいので、下段横長欄へ改める。
出席者は30名以上集まらないと例会毎に赤字になる。
しかし愛知県技術士会の行動規模を縮小しないこと。

会員短信 “バランスの必要性”

記録的な暑さと、「渇水の如く・・・」と言われていた水不足もどうなることかと思っていたが自然界は正直に秋の季節も忘れず、疲れはてていた私どもにさわやかな秋風をもたらしてくれ、ホッと一息。今度は秋雨前線が異常な集中豪雨をもたらし今更ながら人智による技術力と自然界の力の差の大きなことを痛感させられた。

地球環境改善問題が取り沙汰されているが、技術の進歩と自然界の力のバランスを如何に保ち、住みやすい環境を作るためにはどうするか、やじろべいの様なバランスのとれた安定性が必要と言える。これからの私共へのクライアントの要望に対し、如何にバランス良く問題を処理して行くかであり、これには技術者センスに幅広い人間性の豊かさを加え、かつ事務屋的心理発想も心がけている(N生)。

お知らせ

- 日本技術士会会員で、愛知県技術士会へ入会を希望の方はご一報下さい(県在住者の会費は無料)。他府県の方で入会希望者は年会費1,000円を添えて下さい。
- 愛知県技術士会の郵便振替口座を開設しました。本会への送金にご利用下さい。加入者名; 愛知県技術士会
口座番号; 00800-8-133660です。
- どなたでも役員会に出席して会の活動にご協力下さい。申し出は役員まで。役員会開催日時をご連絡いたします。
- 会報に会員短信(250~500字)をお寄せ下さい。新技術情報・業務PR・話題・随筆なんでも結構です。

第3回例会 “見学会” 開催ご案内

日時: 11月25日(金) 名鉄豊田新線「豊田市」駅 東口 10:00 集合
送迎バスへ乗車、見学先: トヨタ自動車工業(株)元町工場へ。
内容: 10:15~11:30 RAV4ライン見学、11:30~13:00
質疑・昼食、13:15頃 送迎バスで「豊田市」駅着、解散。
申込み: 見学人数25名制限あり、先着順にて決めます。申込みは中川技術士事務所までハガキまたはFAXにて”トヨタ見学会” 申込者氏名と部門の連絡を
11月15日までの着便でメ切ります。参加費2,000円は当日徴収。
交通: 地下鉄3号線の 伏見発(8:57) - 上前津(9:01) - 御器所(9:07) -
原(9:18) - 豊田市(9:50) か、各駅16分前発の電車をご利用下さい。